



今年は例年より梅雨入りが早く、一日の気温の変化に体調を崩す人も多いようです。上着を羽織るなど、衣服での体温調節や、こまめな水分補給で体調管理に心がけましょう。"コロナ"に翻弄される生活ですが、お子さんたちの笑顔を大切にしたいと思います。



6月

歯科検診

6月3日(木) 9時より
全園児実施
(歯の生えていない園児は除きます)

前年度より歯科検診のみの実施になり、フッ素塗布はありません。個人差もありますが、乳歯は生後6か月頃から生え始め、永久歯が正しく生えるための道しるべになります。フッ素塗布はむし歯予防に有効ですが、食べた後に口の中を綺麗に掃除することが大切です。そのためには発達の段階を追って、歯を磨くことが習慣化できるようにすることが必要です。一生自分の歯で食べるために、生え始めたらお手入れを始めましょう。

RSウイルス感染症に注意

秋から冬にかけて多く発症するRS感染症が関西や九州を中心に増加が目立っているようです。

RSウイルスは主に飛沫や接触によって感染します。ほとんどが発熱や鼻水の症状ですが、気管支炎や肺炎を起こすこともあります。

特効薬は無いので、マスクの着用や手洗いによる予防が大切です。様々な感染症の予防に手洗いが有効なので、日頃の生活の中で手洗いの習慣をつけたいものです。

手洗い習慣をつけましょう



RSウイルス感染症

RSウイルス感染症にかかると、激しいせきが出て呼吸が苦しくなります。年長児は、それほどひどくありませんが、夜になってせきが急に悪化することがあるので注意しましょう。呼吸困難を起こすと命にかかわることもあるので、下のような様子が見られたら朝を待たず、急いで受診してください。

呼吸困難のサイン

- ひどくせき込んで唇や顔色が青い
- 息をすると胸の上部がべこべこする
- 肩を大きく上下させて息をする
- 呼吸が荒く、顔や手足が冷たい
- 呼吸が速く、息をするとき鼻の穴が広がる



水いぼ" Q & A



Q. 水いぼって何？

A. 伝染性軟属腫ウイルスが原因でできる粟粒大のいぼで、おなかやひじ、わきの下などにでき広がります。

Q. うつつの？

A. いぼがつぶれて中の液が付くとうつります。体の接触、タオルなどの共有でうつりやすいので注意が必要です。

Q. 登園やプールは？

A. 登園の制限はありません。プールもOKですが、傷がしゅくしゅくしているときはガーゼで覆い、プールも控えたほうがよいでしょう。

Q. どうやって治すの？

A. そのままでも半年から1年半ほどで治ります。アトピー性皮膚炎の子や、かゆくてかきこわしてしまうような場合は医師に相談のうえ、治療を。